

第4回 北陸橋梁保全会議（北陸地整 道路部）

- 北陸独自の取り組みとして、橋梁保全に関する情報交換・発信のプラットフォームとして、産・学・官が連携し、橋梁保全に関する技術の向上、研鑽を目的として実施
- 平成25年より3年毎に実施しており、今回で4回目の開催

1. 開催概要

- 開催期間：令和5年10月30日(月)～31日(火)
- 開催場所：新潟グランドホテル
- 参加者数：951名(2日間計)
- 主催：北陸橋梁保全会議実行委員会
- プログラム
 - ◆基調講演
 - ◆報文発表(44課題)
 - ◆パネルディスカッション
 - ◆技術展示(31ブース)

◆開会式



祝辞
(橋本新潟県副知事)



祝辞
(遠藤北陸地方整備局長)



開会挨拶
(武藤実行委員長)

2. 開催状況

◆基調講演



講師

横浜国立大学 総合学術高等研究院
客員教授 前川 宏一氏

テーマ

「デジタル時代のインフラ管理の有り様は？」

◆パネルディスカッション



テーマ：「橋梁保全の課題と今後の展望」

座長：丸山 久一氏(長岡技科大 名誉教授)

パネリスト：

徳橋 良幸氏(北陸地方整備局道路部)
小山 明生氏(新潟県土木部)
阿部 裕之氏(新潟市土木部)
福島 道人氏(日本橋梁建設協会)
安藤 直文氏(プレストレスト・コンクリート建設業協会)
脇坂 哲也氏(建設コンサルタンツ協会)
中村 美香氏(新潟市橋梁アセットマネジメント
推進委員会 広報部会長)

◆閉会式



総括報告
(実行委員会副委員長[代理：矢野氏])



閉会挨拶
(宮崎実行委員会副委員長)

◆報文発表 44編



◆技術展示 31ブース



犀川大橋百寿祭の開催(北陸地整 金沢河川国道事務所)

犀川大橋が2024年7月で架橋から100年を迎えることから、地域活性化や市民・県民のシビックプライドを醸成し、末永く後生に伝えることを目的として、地域と一体となって「犀川大橋百寿祭」を開催。

- 日 時：令和6年7月7日(日)18時30分～20時10分
- 会 場：国道157号 片町交差点～野町広小路交差点(全面通行止による歩行者天国化)
- 来場者数：約15,000人
- 内 容：〈ステージプログラム〉御陣乗太鼓、水辺で乾杯、渡橋式、100周年記念プレート除幕式、未来へのプレート贈呈、西芸妓の舞
〈出店等〉地元小学制作のオリジナル行灯展示、キッチンカーの出店、パネル展示 等



輪島 御陣乗太鼓



水辺で乾杯



3世代家族による渡橋式



100周年記念プレート除幕式



未来へのプレート贈呈



西芸妓の舞



地元小学生制作のオリジナル行灯展示



会場の様子

道路保全の広報活動について(NEXCO東日本)

- (令和5、6年度の広報計画のポイント・概要)
- 高速道路の大規模更新・修繕事業プロジェクトを紹介するもの

実施(予定)日	開催場所	イベント名	内容等
令和5年6月6日(火)	関越自動車道 阿能川橋	R5ハイウェイ懇談会	有識者の方との意見交換会であり、リニューアル工事現場を見ていただいたもの。
令和5年9月19日(火)	北陸自動車道 高瀬橋	R5長岡高専現場案内	リニューアル工事現場を長岡高専の学生に見学していただいたもの。
令和5年11月9日(水)	磐越自動車道 宝珠山TN	R5マスコミ意見交換会	マスコミ関係者に4車線化工事及びリニューアル工事について取材していただいたもの。
令和6年度中	未定	R6ハイウェイ懇談会	有識者の方との意見交換会であり、リニューアル工事現場を見ていただくもの。
令和6年度中	未定	R6マスコミ意見交換会	マスコミ関係者に4車線化工事及びリニューアル工事について取材していただくもの。



道路保全の広報活動について(南魚沼市)

- JICAがおこなっている国別研修に協力し、マダガスカルから19名の研修生を受け入れた。
- 小規模自治体の視点で、道路・橋梁維持管理の現状や課題を中心に研修をおこなった

実施(予定)日	開催場所	イベント名	内容等
5/24	南魚沼市役所 他	マダガスカル 本邦研修	道路、橋梁の 維持管理につ いて



道路保全の広報活動について(志賀町)

➤ 地元小学校児童による『一日橋守隊(はしもりたい)』体験学習会

次の世代を担う子供たちに、公共施設の保全事業（歩道橋の塗替塗装工事）を通じて、いつも利用している歩道橋に一層の愛着を持ってもらうとともに、公共施設を大切に使う心を育んでもらう

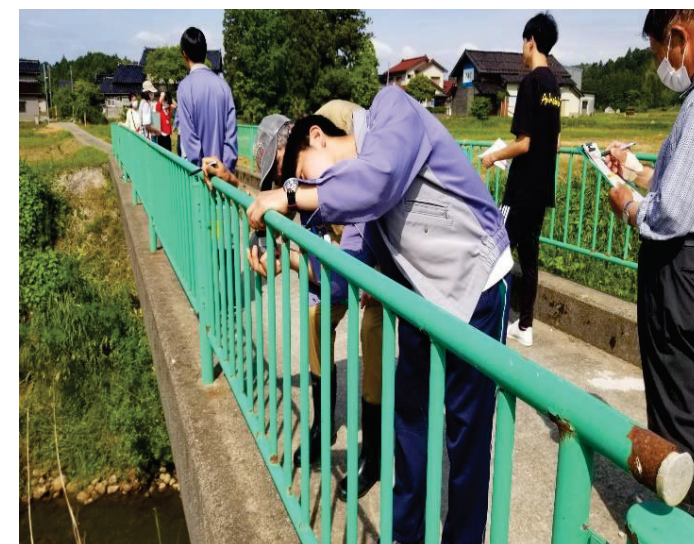
実施(予定)日	開催場所	イベント名	内容等
令和5年10月24日	志賀町 於古川歩道橋	『一日橋守隊』 体験学習会	小学生による歩道橋塗装 塗替作業の体験



道路保全の広報活動について(津幡町)

- 例年、1回/年に開催。
- 日ごろ橋梁を利用している地域住民が、チェックシートを用いた簡易点検を実施する機会を設け、その点検結果を自治体の長寿命化対策に役立てる取り組み。
- 橋梁維持管理における地域住民の理解を促進、利用者目線での点検によるトラブルの早期発見、日常的な維持管理に繋げる体制づくり等の効果を期待。

実施日	開催場所	イベント名	内容等
令和5年5月27日	津幡町 字東荒屋 地内	橋梁きずなプロジェクト	産官学と住民が連携して 実施する橋梁維持管理。 (参加者: 地域住民、津幡町、石川高専(教員・学生)、石川県コンクリート診断士会)



地域住民や学生が協力して点検を実施している様子